

9月

SEPTEMBER

漏水防止月間

漏水チェックをしよう!

漏水していると貴重な水資源である地下水をムダにしてしまいます。上下水道局では漏水の早期発見に努めています。皆さんも漏水によるムダな水を出さないために、日ごろから水道メーターを見る習慣をつけましょう。



水道メーターの見方

- ① すべての蛇口を閉める。
- ② 水道メーターの**パイロット**をチェックする。
- ③ パイロットが回転していれば、メーターから蛇口までのどこかで漏水している可能性があります。
(回転していなければ異常ありません。)

修理や調査は、上下水道局指定の水道工事店か「水道検針時のお知らせ」☆裏面の水道修繕センターへご連絡(相談)され、早期の修理をお願いします。※修理費用はお客様のご負担となります。

☆上下水道局では2ヶ月ごとにメーター検針を行い、その際パイロットが回転している場合は「水道検針時のお知らせ」をお届けしています。

漏水は、早期発見・早期修理をお願いします。

お問い合わせは、上下水道局料金課(TEL 361-5400)まで。



“節水診断”はじめました!



もう少し水道料金が安くないかしら? もっと簡単に節水できる方法はないかしら? よその家庭より水を多く使っているんじゃないかしら?—こんなふうにお客様のご自宅に訪問して、ライフスタイルに応じた節水の実践方法をご提案する

無料サービスをおこなっています! 地球にやさしく、お財布にもやさしいエコな暮らしを始めてみませんか!!

お申し込みは、(財)熊本市水道サービス公社(TEL 361-5571)まで。

熊本市まちなかわくわく親水施設 アイデア・デザインコンテスト



熊本市の街中で、見る、触れる、味わう、そして楽しむなど、地下水都市・熊本を感じさせる親水施設のアイデアとデザインを募集します。

- 募集期間 平成21年6月1日～7月21日
- 応募資格 どなたでも
- 対象エリア 熊本駅から熊本城周辺までの中心部

- 募集作品
 - アイデア部門 親水施設の種類や設置場所、水を楽しむ仕掛けなど、具体的なアイデア
 - デザイン部門 自作・未発表の親水施設のデザイン画(サイズA4からB3、画材等は自由)または、模型
- 応募方法 7月21日までに、所定の応募用紙に必要事項を書いて、郵送かファックス、または電子メールか直接水保全課へ。

- 審査・表彰 熊本大賞/1点(5万円)、熊本アイデア賞/5点(1万円)、熊本デザイン賞/5点(1万円) 他

詳しくは、熊本市役所水保全課(TEL328-2436、FAX359-9945、メールアドレスmizuhozen@city.kumamoto.lg.jp)まで。

会員の節水活動レポート

7月から「節水強化月間」が始まります。会員のみなさんの中から団体・企業・個人の節水の取り組みを紹介していきます。ぜひ参考にして節水に取り組んでみてください。

わくわく節水倶楽部の入会状況
[平成21年5月末現在]

延べ構成人数137,907人
[145団体、381事業者、13行政機関、953個人]

個人活動レポート

熊本市節水推進パートナーシップ会議委員
内田 哲子 様 いくみ 育実 君

節水活動は親子間の大切なスキンシップの一環ですね。

「実は、息子の影響なんです」と熊本市渡鹿の主婦、内田哲子さん。毎日、自宅のベランダから白川を見ている育実君(10)。ある時、川の水量が少ないことがあり、水を大切にしようという意識が芽生えたそう。小学校ではクラス全員で水検定3級を受験。内田家の節水リーダーとしてさまざまな取り組みを行っているそうです。

内田家の節水術の特長は、「楽しんで行うこと」。「朝の洗顔はちょっとした闘い(笑)」。私が顔を洗うと、息子がすぐに水を止めるんです。お互い、その繰り返し。ゲーム感覚で楽しんでいますよ」と内

田さん。さらに、廃油石鹸と一緒に手作りしたり、米のとぎ汁を植木の水やりに活用したりと、気軽に楽しくできることを実践。「おかげで家族のコミュニケーションはばっちり。特別なことをしている意識はありません」と内田さんは笑顔を見せます。ほかに「汚れのひどい皿は口をふいた後のティッシュ等で一度拭いてから洗う」「お風呂の残り湯は洗濯に活用」「節水コマをトイレの蛇口に設置」「トイレの流水は大小のレバーを使い分ける」など、水回りの各所で徹底した節水への取り組みを行っているそうです。



毎日ベランダから白川を見ている育実君。もっとキレイで水量豊富な川にするのが目標



使い終わった油で石鹸を手作りするの、親子の大切な共同作業。育実君は油と化成ソーダを混ぜ合わせる力仕事を担当。石鹸は洗濯などに使うそう



室内にあるたくさんの植物は、米のとぎ汁をかけてあげることによってとっても元気に育っています



無駄な水を出さないようにと蛇口を握る育実君。毎朝、2人で顔を洗うのが日課になっています

内田哲子さん、育実君の主な取り組み

- 洗顔の際は、こまめに水を止める
- 汚れのひどい食器は口をふいた後のティッシュ等で一度拭いてから洗う。また、洗う際は、少量の洗剤を入れた水に浸けてから洗い、それから食洗器に入れる。
- 米のとぎ汁は植木の水やりに活用
- お風呂のお湯は無駄が出ないように湯船の6分目までためる
- 汚れのひどい洗濯物は、お風呂に入っている間に湯船の湯を活用して下洗いする。また、残り湯は洗濯に活用する
- お風呂は足し湯しなくて済むように、家族全員すぐに入る
- 節水コマをトイレの蛇口に設置
- トイレは大小のレバーを使い分ける